

Ⅳ. 令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した
施策の成果について(R2からR3へ繰越した事業)

※事業No.は「R2実施計画」における記載No.です。

P数	事業名	カテゴリー	担当課	事業No.
230	医療従事者等安全確保対策事業(各機関に対する感染防止対策)	感染防止	保健福祉課 (繰越分のみ)	3
231	離島遠隔医療支援対策事業(遠隔診療)	アフターコロナ	へき地診療所	5
232	奄美群島振興交付金(海中清掃)	事業者支援	水産観光課	7
233	無線システム普及支援事業費等補助金	アフターコロナ	企画課	13
234 235	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業(テレワーク施設拠点整備など)	アフターコロナ	企画課	17
236	ドローンを活用した物資輸送等実証実験事業	アフターコロナ	企画課	18
237	移動者・帰省者・医療関係者居場所づくり創出事業	事業者支援	水産観光課	25
238	地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	アフターコロナ	へき地診療所	28
239	窓口申請支援システム整備事業	アフターコロナ	町民生活課	31
240	瀬戸内町 ストグRESET～コロナに負けるな～	住民支援	農林課	34
241	議会議場設備更新事業	感染防止	総務課	36

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	保健福祉課	係名	庶務・医事	年度 区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-------	----	-------	----------	----------------

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	3	医療従事者等安全確保対策事業	
施策の目的	感染症への対応として緊急に必要となる医療提供体制等構築のため、町内の医療機関に防護服・消毒液・マスク等の配布することにより、医療提供体制を確保する。		
具体的な 施策内容	【医療機関分】 (N95マスク50箱)176千円【繰越分】		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	30	事業	1	(単位:千円)	款	7	項	1	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10	9	医療用消耗品購入費				176	011	R2地方創生臨時交付金				170					
								一般財源				6					
		計				176		計				176					

【評価】

本事業の実施により、町内の医療機関において感染拡大防止が図られた。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	保健福祉課	係名	庶務・医事係	年度 区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-------	----	--------	----------	----------------

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	5	離島遠隔医療支援対策事業	
施策の目的	離島における遠隔診療機器や施設を整備し、医療提供体制を確保する。		
具体的な 施策内容	与路地区離島遠隔医療拠点施設整備 工事監理業務委託料 1,353千円 工事請負費 24,363千円 船舶借上料 68千円 備品購入費 163千円		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	30	事業	2	(単位:千円)	款	7	項	1	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	1	設計監理委託料				1,353	1	R2地方創生臨時交付金				25,900					
14	1	工事請負費				24,363		(一般財源)				47					
13	1	車両船舶借上料				68											
17	3	管理用備品購入費				163											
計						25,947	計						25,947				

【評価】

●本事業の実施により、離島における医療提供体制が図られた。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	観光振興係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-------	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	7	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業	
施策の目的	「コロナ拡大防止期」において本町のメインコンテンツである「海」を海中清掃等によるブラッシュアップを実施し、満足度向上を図るほか、海中清掃の取組やweb配信用イベントを開催し動画配信することで広く情報発信する。「収束期」において美しい自然資源を有効活用した「奄美満喫ツアー」を実施し、観光客の滞在促進に繋げる。		
具体的な施策内容	当事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和2年度からの繰越事業である。 奄美満喫ツアーにより観光客の体験プログラムの費用を助成する。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	31	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	1	負担金(R2からの繰越)				360		R2地方創生臨時交付金				360					
計						360	計						360				

【評価】

コロナウイルスがなかなか終息しない中において、美しい自然資源を有効活用した「奄美満喫ツアー」を実施し、観光客の滞在促進に繋げることができた。

本事業を機にさらに観光協会や商工会など官民の連携を深め、一体となって地域特性を活かした観光振興へと繋げるほか、コロナ禍で落ち込んだ観光業等の回復に繋げることができ、有効な事業であった。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	情報政策係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-----	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	13	無線システム普及支援事業費等補助金	
施策の目的	瀬戸内町の伝送用専用線設備を整備することで、通信環境の地域間格差を解消し、瀬戸内町の地域情報化を推進するため、無線局を設置する。この無線局を使用することで、町民生活の利便性向上や地域活性化が図られ、防災及び定住対策等に寄与する。		
具体的な施策内容	民間の通信事業者による光ブロードバンドサービスは一部地域に提供されているのみであり、加計呂麻島等残る地域は未提供となっている。光ブロードバンドを整備し、通信環境の地域間格差を解消し町内地域情報化の推進を図る。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	32	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18	1	負担金				225,400				R2地方創生臨時交付金				75,862			
									1	過疎債				92,200			
										(一般財源)				57,338			
計						225,400			計						225,400		

【評価】

事業の実施により、光ブロードバンドサービスが加計呂麻島全域に提供され、情報格差の解消が図られた。
今後ますます進展していく少子高齢化や労働力不足などの社会的問題の解決、経済活動の活性化等、今後地方創生の推進に寄与できる。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画	係名	企画振興係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	----	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	17	持続可能な地域づくりに向けた戦略拠点形成事業	
施策の目的	コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。		
具体的な施策内容	①先進地視察(福岡・長崎) ②施設整備 ③備品整備 ④空間リニューアル助成事業 ⑤コミュニティデザイン形成事業		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	31	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
8		旅費				163		R2地方創生臨時交付金				80,533					
10～11		消耗品・手数料など				697											
12		設計・工事監理など委託料				10,393											
14		工事請負費				56,128											
18		補助金・助成金				13,152											
計						80,533	計						80,533				

【評価】

①先進地視察

▶長崎県壱岐市で展開する「壱岐イルカパーク」、福岡県で展開する「THE SALT」「Fukuoka Growth Next」を視察。施設の間取り、用途別の空間設計、地域内での官民連携の状況などを中心に教示を受けた。

「壱岐イルカパーク」は地域密着型で事業展開。「THE SALT」「Fukuoka Growth Next」は、幅広に企業を繋ぎ新たなビジネスを創出する施設。

「壱岐イルカパーク」では、立ち上げに携わった壱岐市役所職員からSDGs施策の説明や交付金獲得に係る資料作成のアドバイスなどの教示も受けた。

今後、連携した取組など図っていけるよう、情報共有など継続していく。

※次ページに続きます。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画	係名	企画振興係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	----	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	17-1	持続可能な地域づくりに向けた戦略拠点形成事業	
<p>【評価】</p> <p>②施設整備 ③備品整備 ▶コロナによる物品調達などの遅れにより完成が伸びたが、R3/12/23に完成、R4/1/11プレオープン、同2/25にグランドオープンを迎えることができた。 (施設整備費、備品整備費など内訳) 合計 66,521千円 ●実施設計委託料 4,178千円 ●工事監理委託料 715千円 ●公衆無線LAN整備委託料 880千円 ●環境整備設置委託料 4,620千円 ●工事請負費 (建築)28,210千円 (電気)11,473千円 (浄化槽)15,235千円 (その他工事)1,210千円</p> <p>④空間リニューアル助成事業 助成額 3,141千円 ▶施設利用促進、地域内滞在の促進による域内経済循環を創出させる事業として、当助成事業を実施。町内の事業所で、コロナ禍により遊休資産となった施設を、テレワーク施設や宿泊施設へと改修する事業経費について一部助成(上限100万円。補助率9/10)。</p> <p>【実績】 ▶交付申請8件、交付決定7件、事業実施5件、事業取下げ2件であった。 空き家や民家を改修しての宿泊施設の整備費や、インターネット環境整備費などについて助成。整備した施設の情報「すこやか福祉センターHUB(以下、すこやかHUB)」の指定管理者と共有し、宿泊や多様な働き方に対応する施設としてすこやかHUB利用者やすこやかHUB運営サイトでの情報提供を行い、連携した取り組みを図っていく。 また、R3年度において事業の取下げが2件あった。取下げ原因が、大工が不足し、年度末までに事業完了ができないとのことであったため、令和4年度に事業実施する場合には、事業開始を早い段階でできるように進める。</p> <p>⑤コミュニティデザイン形成事業 補助金額 10,000千円 ・整備したすこやかHUBについて、事業の目的をより効果的・効率的に達成するため、指定管理者制度の導入を決定。令和3年1月15日からプロポーザル形式での公募を開始。 2事業者から申請があり、同年2月24日、オンラインによるプレゼンテーションを開催。民間からの3名を加えた全8人の選定委員による審査の結果、本町清水のBLUE School Design株式会社(代表:河本雄太氏)と協定締結に至った。 令和3年度は、全国的にコロナ禍の収束がみられず、本町においても、「まん延防止等重点措置」の適用区域に指定されるなど、事業展開を図るには困難な年度となった。 感染拡大防止対策としてグランドオープンを延長した(予定は令和3年12月中であったのが、令和4年2月25日になった。)ため、見込んでいた利用料収入の減や、実施できない事業が発生した。 しかし、整備にかかるデザイン設計からの参画や、全国の類似施設で好展開を図っている事業所などの視察、視察した際に取得したものの当施設への活用、また空間リニューアル助成事業などで整備した町内施設と連携し事業展開を図っていくための拠点としての宣伝PRなどを滞りなく実施できた。 グランドオープン後、島外企業からの問合せや、施設利用者からの役場への事業提案なども寄せられ、また、設定KPIも十分に達成(利用料収入に関しては、コロナの影響で未達成)し、初年度としては期待通りの評価とした。</p> <p>次年度においても、「すこやかHUB」を施設整備の主旨である「持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点」として位置づけ、地域経済の好循環を創出する取組体制の構築などを進捗させていく。</p> <p>⑥その他予定していた事業 ▶水素発電システムの導入 →予定していた、整備した施設の電力を賄う「水素発電システム」の導入については、機器の選定を終え、その後の準備を進めていたが、契約予定企業より「コロナ禍により、整備に係る部品調達が年度内にできない」とのことで、不調となり、導入を見送った。 ▶藻場育成 →水産観光課で取組を実施しているため、主要施策成果表(通常分)として公表します。</p>			

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	産業立地係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-----	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	18	ドローンを活用した物資輸送等実証実験事業	
施策の目的	台風などでフェリーが欠航した際に加計呂麻島・請島・与路島(以下、「3島」という。)へ生活物資等を運ぶ手段がなくなってしまう。また、3島で生産された農林水産物を出荷する際、奄美大島へ輸送する費用がさらに加算されるため島内消費に留まっている。そこで、地理的不利性を是正し3島の地域経済を活性化させるために、新技術を導入し新たな生活スタイルを確立させる必要がある。		
具体的な施策内容	<p>当事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、令和2年度からの繰越事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度行ったワークショップで出た意見を広報紙(7～9月号)で周知した。 ・ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会を2回開催し、委員の意見を集約した。 ・鹿児島県ドローンネットワーク推進協議会に参画した。 ・デジタル田園都市国家構想推進交付金を申請し採択を受ける。 		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	33	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	01	001_ドローン物資輸送等検討協議会報償費				40	008	R2地方創生臨時交付金				635					
8	03	001_普通旅費				595											
計						635	計						635				

【評価】

●「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」及び「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」での協議内容をもとに考えられる20のユースケースを洗い出し、その中から実証する有望なケース(救援物資輸送と日用品の定期輸送)を選定してきた。令和4年度はこの2つのケースを実際にドローンを飛ばし、実証を行っていく。また、瀬戸内モデルとして事業化されるよう、実証シナリオをもとに、関係する事業所とともに下記項目を推進し「新たな生活スタイルの確立」を図っていく。

- ・物流網強化、利便性の高いまちづくりによる生活への満足度の向上
- ・災害に強いまちづくりによる生活への満足度の向上
- ・新たな物流網による特産品の価値向上及び地元産業の振興
- ・デリバリー事業等の新事業、サービスの創生による企業誘致や町民所得の向上

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	観光振興係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-------	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	25	移動者・帰省者・医療関係者居場所づくり創出事業	
施策の目的	海外や県外にいた家族などが地元へ帰省した際に、同居する家族や地域を守るため、一時的に宿泊施設等に滞在する場合に、本町がその施設等を借り上げて提供、または宿泊費等を助成し、宿泊産業の支援と帰省する家族等の居場所づくりを創出する。(医療者・医療従事者含む)		
具体的な施策内容	当事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和2年度からの繰越事業である。 宿泊費用、消毒液の購入費へ充当 5,000円×4日が1セットの50セット 一人あたりを上限を20,000円とし、宿泊費の80%を助成 令和3年度実績 6件 9人 145,568円		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	30	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金 (R2からの繰越)				146		R2地方創生臨時交付金				146					
計						146	計						146				

【評価】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした、移動者帰省者・医療関係者の居場所づくり創出を目的に令和2年12月から宿泊の助成を実施しており、令和3年度も残額を繰越して引き続き助成を行ってきたが、期間を通して利用が少なく、令和4年2月28日で事業を終了した。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	保健福祉課	係名	庶務・医事係	年度 区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-------	----	--------	----------	----------------

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	28	地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	
施策の目的	発熱外来の設置や施設整備を行い、医療機関体制の構築を図る。		
具体的な 施策内容	施設延命対策 防水改修工事 10,790千円		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	30	事業	1	(単位:千円)	款	7	項	1	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名								
14	1	工事請負費				10,790		1	R2地方創生臨時交付金				10,700				
									(一般財源)				90				
		計				10,790			計				10,790				

【評価】

本事業の実施により、へき地診療所の安全対策が図られた。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	町民生活課	係名	戸籍住民係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-------	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	31	窓口申請支援システム整備事業	
施策の目的	新しい生活様式に対応できるよう窓口手続きのスマート化、デジタル化を推進し、住民の負担を軽減するとともにクラスター感染の防止等コロナ拡大を可能な限り抑えることを目的とする。		
具体的な施策内容	<p>本事業は、令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を繰り越した事業である。</p> <p>マイナンバーカード、免許証を使用し、各種証明書の交付申請を行う際の本人情報を自動的に記載することにより、窓口での住民負担を軽減し、人的接触や密集を防ぐ事ができる。</p> <p>システム一式:操作用タブレット1台、カード読取機1台、プリンター1台</p>		

【経費内訳】

款	2	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名								
12	334	委託料				1,034		11	R2地方創生臨時交付金				1,033				
									(一般財源)				1				
計						1,034		計						1,034			

【評価】

今後、マイナンバーカードの交付率の高まりとともに、本システムの利用数も伸びていくと思われる。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	農林課	係名	農政係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-----	----	-----	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	34	瀬戸内町 スグレセット～コロナに負けるな～特産品PR業務委託	
施策の目的	コロナの影響による長期間の来島自粛要請発令に際し、島外の方々のご協力で奄美での感染者は少人数で抑えることができ、また自粛要請解除となった現在も来島者の感染防止対策にて、感染者の増加は抑えられている。この感染防止対策に対する協力のお礼とこれからの更なる協力の依頼を行うことで、奄美大島(瀬戸内町)への新型コロナウイルスの侵入を防ぎ、安心して来島していただく事で、感染防止、地域経済の活性化を図る。また、故郷への帰省を自粛し頑張っている学生を対象に本町の特産品をお届けする事によって、郷土愛を高め、将来地元のために活躍する人材を創る。		
具体的な施策内容	委託料 4,989千円 消耗品(紬マスク)(オリジナルエコバック) 特産品(クロマグロ) 送料 帰島者308名・来島者190名・学生52名 計 550名		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	30	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	1	委託料				4,989		R2地方創生臨時交付金				4,989					
計						4,989	計						4,989				

【評価】

来島自粛要請期間の来島者(仕事等)と自粛要請期間解除となった後の来島者への感染防止対策徹底に対する特産品のPRを兼ねたお礼と、親元を離れ故郷への帰省を自粛し島外で頑張っている学生に元気を届けることができた。

令和3年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	総務課	係名	人事行政係	年度区分	R2からR3へ繰り越した事業
----	-----	----	-------	------	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	36	議会議場設備更新事業	
施策の目的	議会傍聴の分散化を図るため、既存のアナログ設備をデジタル化し、議会の動画配信においてクリアな映像と音声を届け、議場における傍聴者の削減による3密対策及び町民の安心と安全な環境を確保する。また、議員等へタブレットを配布することで委員会等のリモート化を促進し、密を防ぐことで感染症対策を図る。		
具体的な施策内容	当事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、令和2年度からの繰越事業である。 議場のデジタル化への環境整備及び議員等へタブレット33台を購入し配布した。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	30	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
14	1	工事請負費				19,910			11	R2地方創生臨時交付金				22,000			
17	1	備品購入費				2,229											
										(一般財源)				139			
		計				22,139				計				22,139			

【評価】

令和3年度は、議会のマイク・カメラ・操作・録音・映像設備等の既存のアナログ設備をデジタル化し、議会の動画配信においてクリアな映像と音声を届け、議場における傍聴者の削減による3密対策及び町民の安心と安全な環境を確保した。
また、議員等へタブレットを配布することで委員会等のリモート化を可能とし、町当局においては、議案や各会議の資料のペーパーレス化が図られた。